

チャイルド&amp;ジュニアシート

エアグルーヴ  
AirGroove

## 取扱説明書／保証書

〈お願い〉

〈重要〉ご使用前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

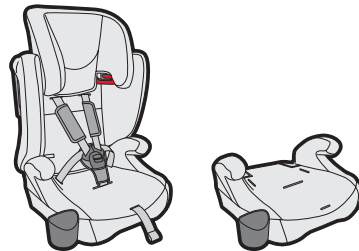
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814  
 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155  
 受付時間：AM10:00～PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

本製品は、体重**9kgから36kgまで**のお子様用です。  
 UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
 ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
 また、お読みになった後は、**本書を取扱説明書収納ポケットに常備し、大切に保管してください。**  
 本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。  
**製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。**

UN ECE-R44/04適合  
**汎用型グループⅠ、グループⅡ、グループⅢ 9kgから36kgまで**



ご使用前に

チャイルドシートモード

ジュニアシートモード

ブースターシートモード

その他

## ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
本書の見かた	3
各部のなまえ	5
お子さまの条件	9
座席の条件	11
シートベルトの条件	13
ご使用上の注意	15
日常の点検	19
組み立て方法	20
ドリンクホルダーの使いかた	22
ヘッドサポートの高さ調節	23

## チャイルドシートモード

肩ハーネスの調節	24
取り付け準備	29
車への取り付けかた	31
取り付け後の確認	33
お子さまの乗せかた	34
使用時の確認	37

## ジュニアシートモード

肩ハーネスの取り外しかた	38
車への取り付けかた	43
お子さまの乗せかた	44
使用時の確認	46

## ブースターシートモード

背もたれの取り外しかた	47
肩ベルト調節ストラップの使いかた	48
車への取り付けかた	50
お子さまの乗せかた	51
使用時の確認	52
チャイルドシートモードへの戻しかた	53

## お手入れ

シートカバーの取り外しかた	57
お手入れ/保管・廃棄のしかた	59
困ったときに	60
保証について	62
アフターサービスについての連絡先	63
MEMO	64
保証書	66

# ご使用前に

## チャイルドシートについて




- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・取扱説明書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

### 〈中古品のご使用について〉

- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部のゆるみなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

## 本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

## 保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。
- ・開梱後は本書をよくお読みのうえ各動作確認をおこなってください。また、安心してご使用いただくため、取り付け後は定期的に各動作確認をおこなってください。本書通りに操作できない場合、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問合せください。



製品の取扱いにおける禁止行為です。



製品の取扱いで知っておくと便利な内容です。

・必ずお読みください。

ご使用前に確認

P2~P10

車の座席、シートベルトを確認

P11~P14

ご使用上の注意

P15~P18

日常の点検と確認

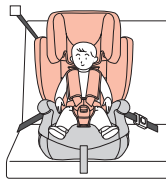
P19

組み立て方法

P20~P22

## グループ I <チャイルドシートモード> 肩ハーネス使用

お子さまの条件  
体重：9kgから18kgまで



P24~P37

- (1) 肩ハーネスの調節
- (2) 車への取り付けかた
- (3) 取り付け後の確認
- (4) お子さまの乗せかた
- (5) **使用時の確認**

## グループ II <ジュニアシートモード> 背もたれ使用

お子さまの条件  
体重：15kgから25kgまで

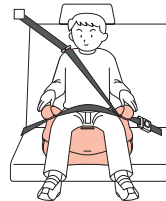


P38~P46

- (1) 肩ハーネスの取り外しかた
- (2) 車への取り付けかた
- (3) お子さまの乗せかた
- (4) **使用時の確認**

## グループ III <ブースターシートモード> 座面のみ使用

お子さまの条件  
体重：22kgから36kgまで



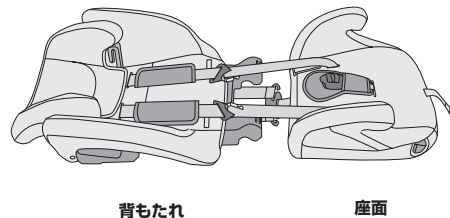
P47~P52

- (1) 背もたれの取り外しかた
- (2) 肩ベルト調節ストラップの使いかた
- (3) 車への取り付けかた
- (4) お子さまの乗せかた
- (5) **使用時の確認**

# 各部のなまえ

## 〈梱包内容〉

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



## 〈付属品〉



ドリンクホルダー  
(P22参照)



肩ベルト調節ストラップ  
(P48参照)  
(取扱説明書収納ポケットに保管してください。)



取扱説明書  
(本書)

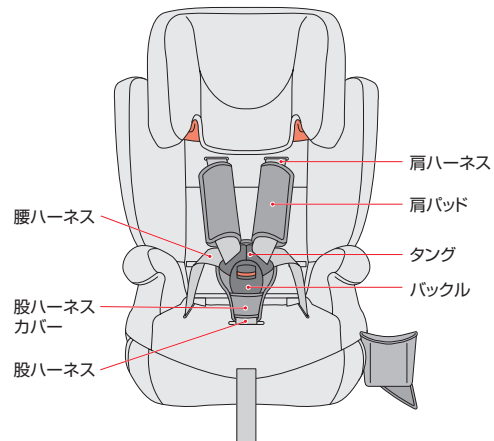
## 〈重要〉ご使用前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。  
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一か月以内に必ず登録をお願い致します。

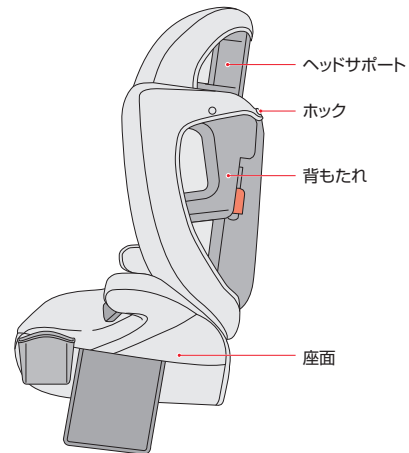
弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>



## 〈本体正面〉

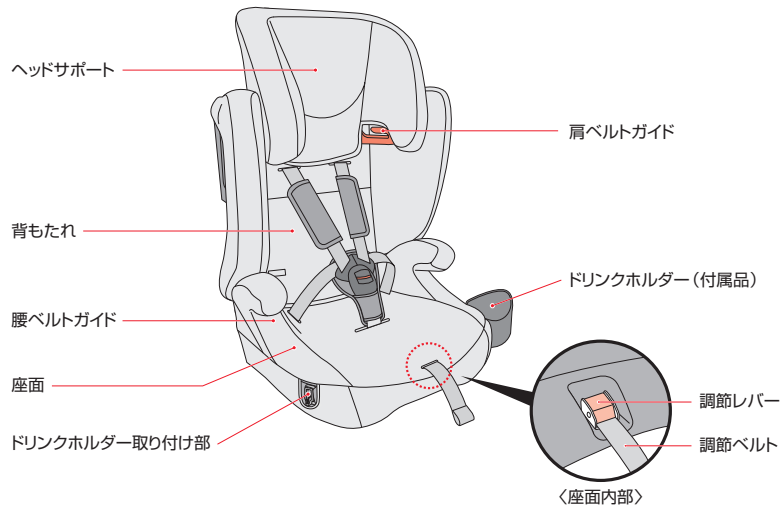


## 〈本体側面〉

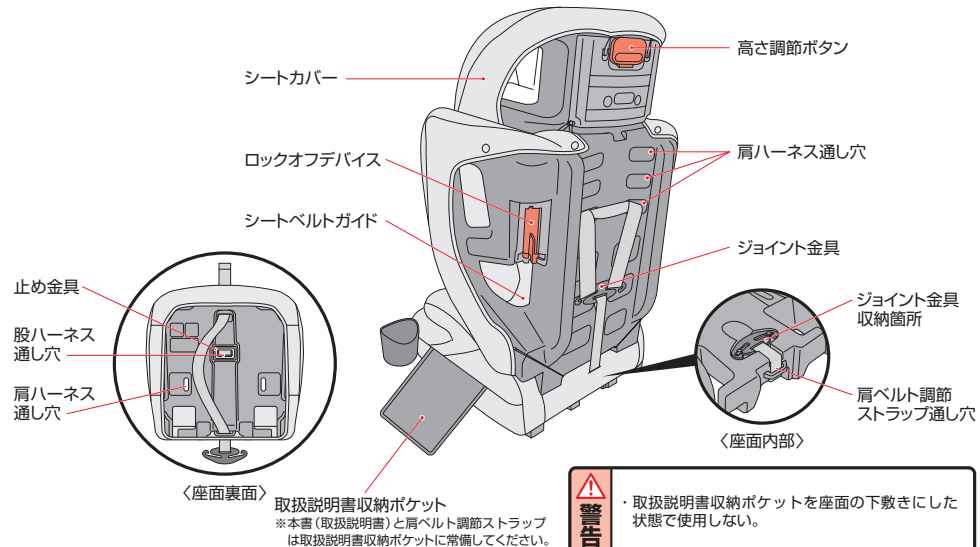


# 各部のなまえ

〈本体正面〉



〈本体背面〉



# お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
- ・参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。



・条件を満たしていないお子さまには**使用しない**。**衝突などの際に充分性能を発揮できません**。

お子さまの体重にあわせて、3通りの使いかたがあります。

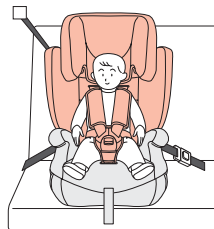
## 体重9kgから18kgまで

参考年齢：12カ月頃から4歳頃  
参考身長：75～105cm

### グループⅠ 〈チャイルドシートモード〉

#### 〈肩ハーネスを使用〉

- ・シートベルトで座席に固定し、肩ハーネスを使用する。



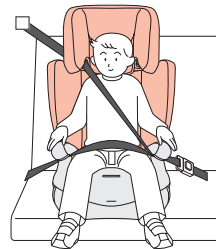
## 体重15kgから25kgまで

参考年齢：3歳頃から7歳頃  
参考身長：95～120cm

### グループⅡ 〈ジュニアシートモード〉

#### 〈背もたれを使用〉

- ・肩ハーネスを外して、シートベルトでお子さまをホールドする。



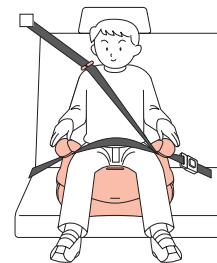
## 体重22kgから36kgまで

参考年齢：7歳頃から11歳頃  
参考身長：120～145cm

### グループⅢ 〈ブースターシートモード〉

#### 〈座面のみを使用〉

- ・肩ハーネス、背もたれを外して、シートベルトでお子さまをホールドする。
- ・肩ベルト調節ストラップ使用。



# 座席の条件

●本製品は「汎用」幼児拘束装置です。車で一般的に使用するものとして、UN ECE-R44/04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車に取り付けることができます。

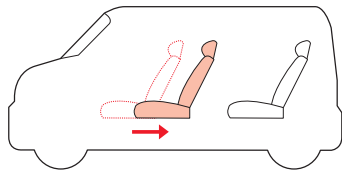
●車の取扱説明書に当該車両がこの年齢層向けの「汎用」幼児拘束装置を搭載できると明記されていれば、本製品が正しく取り付けられると考えられます。

## 〈お奨めする取り付け座席〉

・お子さまの安全を最優先に考えチャイルドシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。

## 〈やむを得ず前席に取り付ける場合の注意〉

・座席をいちばん後ろまで移動（スライド）させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。



**警告**

・座席の背もたれの上部分をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 〈取り付けできない座席〉



・車のヘッドレストが外せず、座席の背もたれとチャイルドシートが接触しない座席。



・進行方向に対して横向き及び後向きの座席。



・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



・極端に奥行きが短い座席。  
（補助席や幼児専用座席）



・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。（極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など）



# シートベルトの条件

・本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	ALR/ELR(チャイルドロック機構付)のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。この場合、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

## 〈シートベルトバックルの正しい位置〉

- ・シートベルトバックルの位置は、チャイルドシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・右図のように、バックルが製品に干渉しバックル側のベルトにたるみが生じる場合は本製品はそのシートベルト及び車両ではご使用になれません。ご不明な方は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P63参照)



## 〈取り付けできない座席〉

- ・シートベルトの取り付け幅が極端に小さくベースでバックルを踏みつける座席。
- ・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。(一部のRV車)
- ・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。
- ・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。

- ・2点式シートベルトの座席。
- ・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。
- ・パッシブシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)
- ・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



## ご使用上の注意



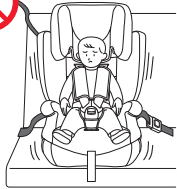
危険

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重9kg未満及び36kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。

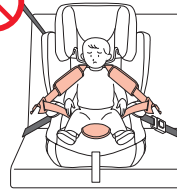


・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



危険

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。  
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

## ご使用上の注意



警告

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまをチャイルドシートに乗せたまま一人で車内に残さない。
- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。  
(例：片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネスや腰ハーネス、股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にハーネス調節などの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまの耳の上端部が本製品の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・ブースターシートモードで、お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、または、ヘッドレストの上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・バックルに水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入りタンクが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。

- ・可動部に水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入り操作ができない場合は使用しない。
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品のネジやナットを取り外したり、分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・弊社指定アクセサリ以外のものを使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・梱包装袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外した背もたれやパッド類、各ハーネスはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。
- ・背もたれのみで使用しない。
- ・極端な厚着や防寒具の上から肩ハーネス、腰ハーネス、股ハーネスを装着しない。ハーネスのゆるみの原因となるおそれがあります。寒さ対策はハーネスを装着した上から行ってください。



注意

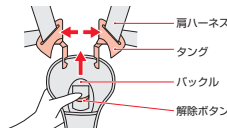
誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。  
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタンクはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや取り外し、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用すると可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールをはがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。

## 緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タンクを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタンクが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。



## 日常の点検

- ・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。

車のシートベルトをロックオフデバイスで固定している。

車のシートベルトがシートベルトガイドにかかっている。

座面の奥側を両手で持ち、左右に動かして座面部分が約3cm以上(目安)ずれない。  
下記のような確認方法では、座面部分とチャイルドシート全体が動きます。正しい方法でご確認ください。

ヘッドサポートを持って前後に動かさない

座面の前部を持って前後左右、上下に動かさない

チャイルドシートの背もたれが車の座席の背もたれに接している。

チャイルドシートの背もたれ角度は1段目か2段目に調節されている。

車のシートベルトがシートベルトガイドにかかっている。

車のシートベルトにねじれ、ゆるみがない。(シワは問題ありません。)

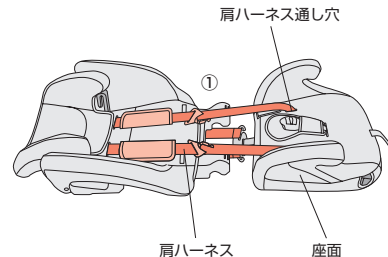
チャイルドシートの座面が車の座席の座面に接している。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。

**警告** ・お子さまが乗っていないときでも、チャイルドシートは必ずシートベルトで固定する。急ブレーキや衝突時などの衝突で乗員がけがをするおそれがあります。

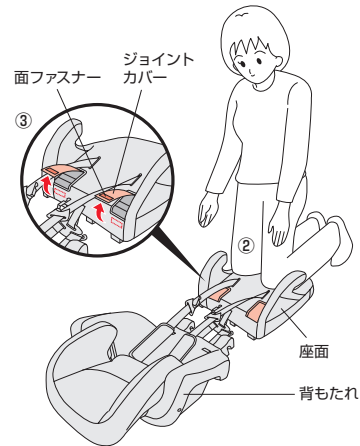
## 組み立て方法

- ・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。
- ①座面の肩ハーネス通し穴に肩ハーネスが確実に取り付けられていることを確認する。



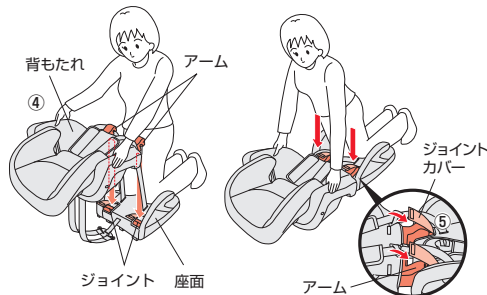
- 警告** ・組み立ては必ず大人が行い、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。

- ②座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。
- ③ジョイントカバーの面ファスナーを外す。(左右)

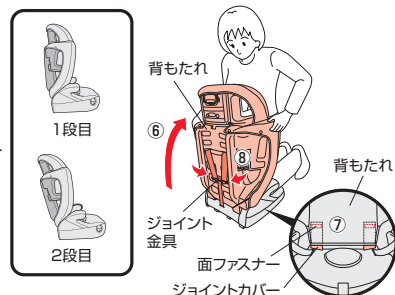


## 組み立て方法

- ④ 背もたれを水平に持ち上げる。
  - ⑤ ジョイントカバーを挟み込まないようにアームを座面のジョイントに掛ける。
  - ⑥ 背もたれを起こし、背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。
- ・背もたれ角度は2段階に調節が可能です。(P31参照)



- ⑦ ジョイントカバーの面ファスナーを背もたれ側のシートカバー裏側の面ファスナーにとめる。(左右)
- ⑧ 肩ハーネスがジョイント金具に取り付けられていることを確認する。



**警告**

- ・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意する。
- ・組み立てたチャイルドシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意する。

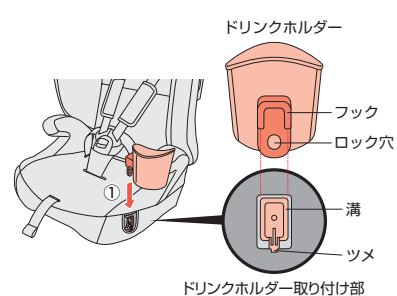
**注意**

- ・背もたれ部分が斜めにならないよう注意してください。
- ・シートカバーやジョイントカバーを挟み込まないように注意してください。

## ドリンクホルダーの使いかた

### 〈取り付け〉

- ① 座面のドリンクホルダー取り付け部の溝にドリンクホルダーのフックを上から差し込み、ツメにロック穴が入るまで下げる。
- ② ドリンクホルダーを引っ張り、抜けないことを確認する。



**アドバイス**

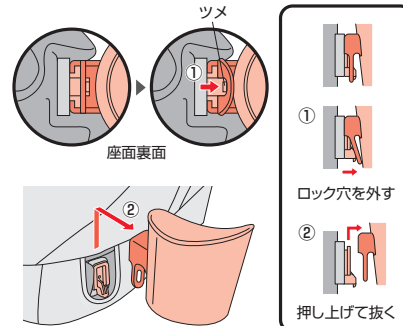
やむを得ず、助手席にチャイルドシートを取り付ける際、シフトレバーやサイドブレーキなど運転操作に支障をきたす場合は、ドリンクホルダーを取り付けしないでください。

**警告**

- ・ドリンクホルダーに熱い飲み物を入れない。火傷をするおそれがあります。
- ・ドリンクホルダーに体重をかけない。

### 〈取り外し〉

- ① 座面シート内側のドリンクホルダーのロック部を引く。
- ② ドリンクホルダーを上げて、取り外す。



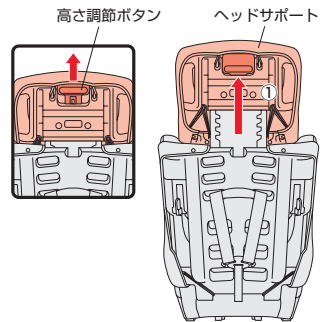
**注意**

- ・ドリンクホルダーが車のドアなどにぶつかる場合は反対側に取り付けてください。
- ・ドリンクホルダーをご使用になる場合は、飲み物がこぼれないよう注意してください。

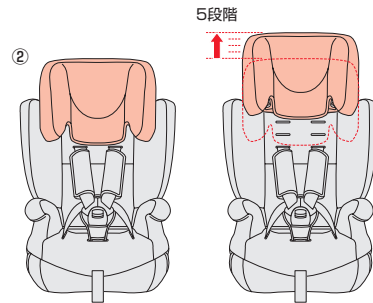
## ヘッドサポートの高さ調節

- ・ヘッドサポートの高さは5段階に調節できます。
- ・お子さまの体格に合わせて調節してください。

- ①ヘッドサポート背面の高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートの高さを調節する。



- ②ヘッドサポートがしっかりと固定されていることを確認する。



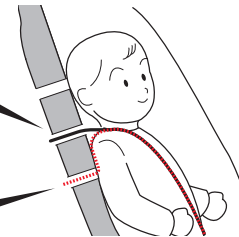
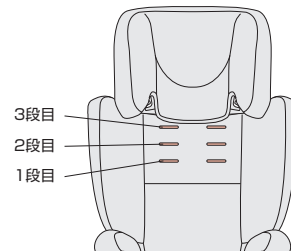
・お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。  
 ・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意する。手、指などを挟み、けがをすることがあります。



## チャイルドシートモード/肩ハーネスの調節

- ・肩ハーネス位置は3段階に調節できます。
- ・肩ハーネスがねじれないよう、お子さまの体格に合わせて調節してください。

・お子さまの肩よりすぐ上の肩ハーネス通し穴を使用する。



体 重	参考身長(目安)	肩ハーネスの位置(目安)
9kgから 18kgまで	95cm	3段目
	85cm	2段目
	75cm	1段目



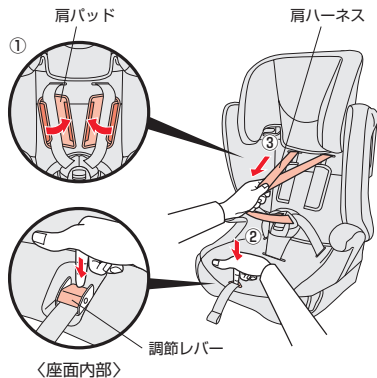
・お子さまの肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。  
 衝突などの際に充分性能を発揮できません。



# チャイルドシートモード/肩ハーネスの調節

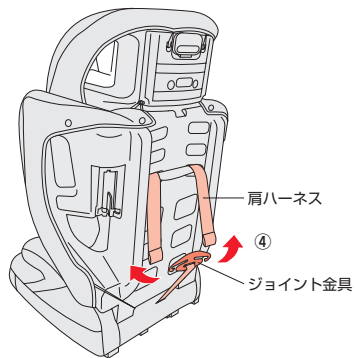
## 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①肩パッドを開く。(左右)
- ②調節レバーを押す。  
・調節レバーを押すときに調節ベルトを手で押さえつけないでください。
- ③調節レバーを押したまま、肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。

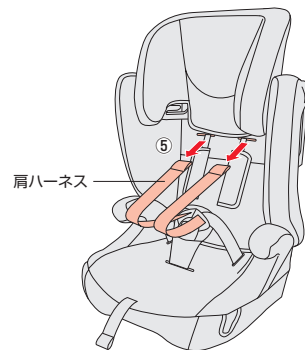


## 〈肩ハーネスを外す〉

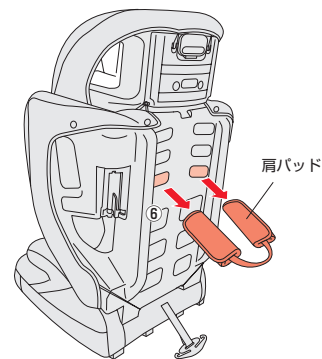
- ④肩ハーネスをジョイント金具から取り外す。(左右)



- ⑤肩ハーネスをシート前側から引き抜く。(左右)



- ⑥肩パッドを背面側から引き抜く。(左右)

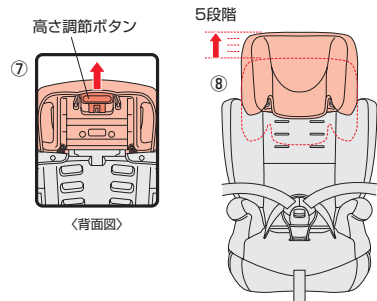




# チャイルドシートモード/肩ハーネスの調節

## 〈ヘッドサポートの高さ調節〉

- ⑦調節ボタンを上げた状態で、使用する肩ハーネス通し穴が見えるまでヘッドサポートを引き上げる。
- ⑧ヘッドサポートがしっかりと固定されていることを確認する。

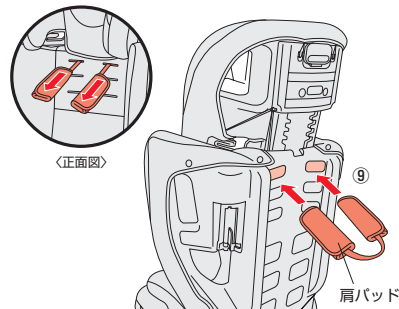


**警告**

- ・お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
- ・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意する。手、指などを挟み、けがをすることがあります。

## 〈肩パッドを差し込む〉

- ⑨使用する肩ハーネス通し穴に肩パッドを左右差し込む。

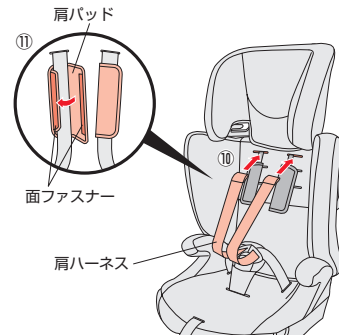


**警告**

- ・肩パッドを裏表逆で使用しない。
- ・肩パッドを左右違う高さで使用しない。
- ・衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 〈肩ハーネスを差し込む〉

- ⑩肩ハーネスを差し込む。(左右)
- ⑪肩ハーネスを肩パッド内側の折り返しにはさみ、面ファスナーをとめる。(左右)

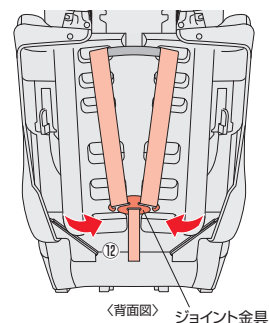


**警告**

- ・肩ハーネス通し穴は、肩パッドを通した穴以外では使用しない。
- ・衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 〈肩ハーネスをとめる〉

- ⑫肩ハーネスをジョイント金具にとめる。(左右)



**警告**

- ・肩ハーネス、調節ベルトにねじれがないこと。

- お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。
- 本書では、右後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。
- 車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP11～P14を参照してください。

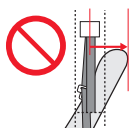
## 危険

・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。

## 警告

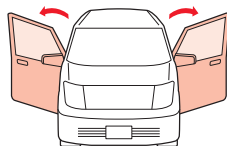
・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。

・座席の背もたれの上をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

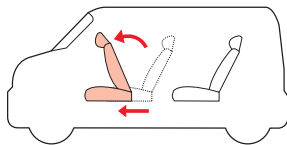


### 〈取り付け作業のスペース確保〉

- ①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

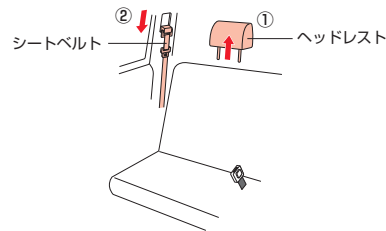


- ②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



### 〈取り付ける座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外す。
- ②シートベルトの肩の高さを下げる。



## 警告

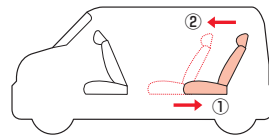
・車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けない。チャイルドシートを確実に固定できないおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。



チャイルドシートモードで使用の際、取り付け座席にスライド機能がついている場合、取り付け後に座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。

- ①チャイルドシートを取り付ける前に、取り付け座席を1番後ろにスライドさせる。
- ②取り付け後、取り付け座席を前にスライドさせる。



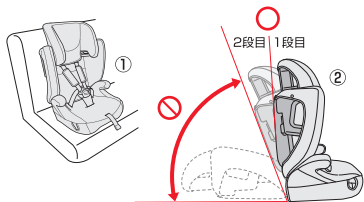
・チャイルドシートを取り付ける座席が革仕様の場合は、別売りの「シート保護マット」のご使用を推奨します。直接取り付けると革をいためるおそれがあります。なお、「シート保護マット」は革仕様以外の座席にもご使用いただけます。





## 〈背もたれ角度を調節する〉

- ①チャイルドシートを座席にのせ、チャイルドシートの前部が座席からはみ出していないことを確認する。
- ②チャイルドシートの背もたれ角度(2段階)を座席に合わせて調節する。  
リクライニングが可能な座席の場合は、使用したいチャイルドシートの背もたれ角度に合わせて座席のリクライニングを調節する。

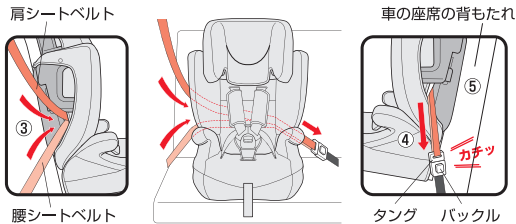


**警告**

- ・チャイルドシートの背もたれ角度は1段階目か2段階目以外では使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・取り付け後にチャイルドシートの背もたれ角度を変更する場合は必ずシートベルトを締め直す。シートベルトがゆるみ、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 〈シートベルトをとめる〉

- ③シートベルトをシートベルトガイドに通し、タングをバックル側に引き出す。
- ④タングをバックルに差し込む。
- ⑤チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれのすき間がなくなるようにチャイルドシートの位置を調節する。



**警告**

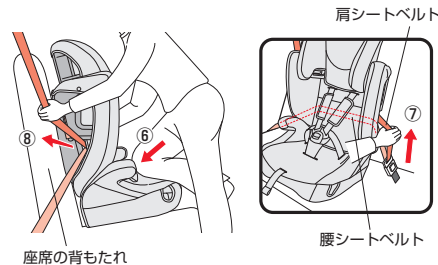
- ・チャイルドシートの背もたれと車の座席の背もたれ、チャイルドシートの座面と車の座席の座面が離れた状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

**注意**

- ・シートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなりチャイルドシートを取り外せなくなるおそれがあります。

## 〈シートベルトをしめつける〉

- ⑥座部を車の座席に押し付けながら、(座面に膝を乗せて体重をかけてください。)
- ⑦バックル側の肩シートベルトを強く引き上げ、腰シートベルトのゆるみをとる。
- ⑧肩シートベルトをドア側に強く引っ張りながら、

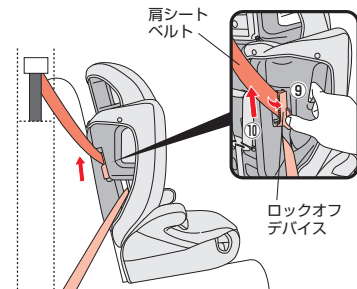


**警告**

- ・肩シートベルトにねじれ、ゆるみがないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 〈ロックオフデバイスに差し込む〉

- ⑨ロックオフデバイスを開き、
- ⑩肩シートベルトを差し込みロックオフデバイスを閉じる。



**アドバイス**

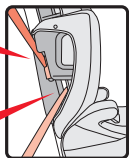
車のシート形状によってはロックオフデバイスが隠れて肩シートベルトを差し込みにくい場合があります。その場合は先にロックオフデバイスに肩シートベルトを差し込んでから、⑥、⑦の順にシートベルトをしめてください。



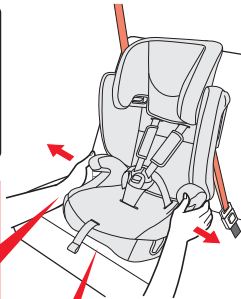
## チャイルドシートモード／取り付け後の確認

- ・取り付けが終わったら、チャイルドシートが固定されていることを必ず確認する。  
固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

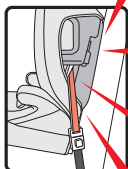
車のシートベルトをロックオフデバイスで固定している。



車のシートベルトがシートベルトガイドにかかっている。



チャイルドシートの背もたれが車の座席の背もたれに接している。



チャイルドシートの背もたれ角度は1段目か2段目に調節されている。

車のシートベルトがシートベルトガイドにかかっている。

車のシートベルトにねじれ、ゆるみがない。(シフは問題ありません。)

座面の奥側を両手で持ち、左右に動かして座面部分が約3cm以上(目安)ずれない。  
下記のような確認方法では、座面部分とチャイルドシート全体が動きます。正しい方法でご確認ください。



ヘッドサポートを持って前後に動かさない



座面の前部を持って前後左右、上下に動かさない

チャイルドシートの座面が車の座席の座面に接している。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。

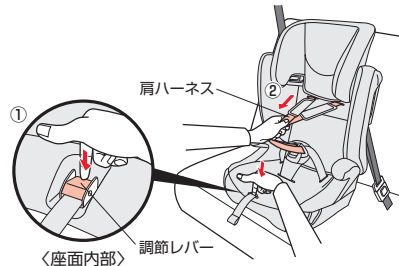
・全て確認し、固定できていない場合は、もう一度P29～P32の手順で取り付け直してください。



## チャイルドシートモード／お子さまの乗せかた

### 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。  
・調節レバーを押すときに調節ベルトを手で押さえつけないでください。
- ②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
・肩パッドより下の肩ハーネスを引いてください。

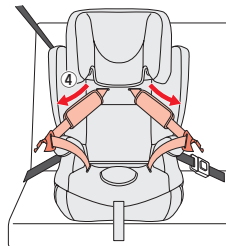
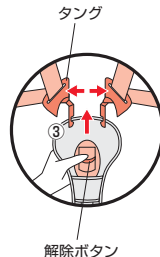


肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。



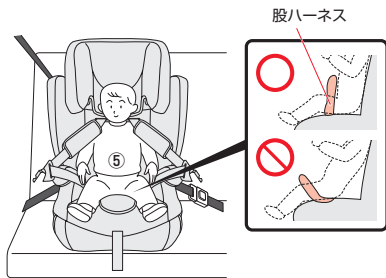
### 〈タングを外す〉

- ③バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ④肩ハーネスを左右に広げる。



## 〈お子さまを乗せる〉

- ⑤ お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。

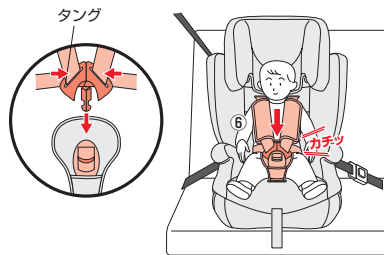


・背もたれとアームレストの間に衣服や指などはさまないように注意してください。



## 〈タングを差し込む〉

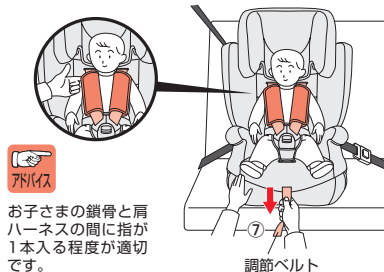
- ⑥ 肩ハーネスがねじれないように左右のタングを組み合わせ「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。けがを負うおそれがあります。  
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 〈肩ハーネスを調節する〉

- ⑦ 調節ベルトをまっすぐ引き、肩ハーネスを締める。(ゆるめる場合は、P34を参照してください。)



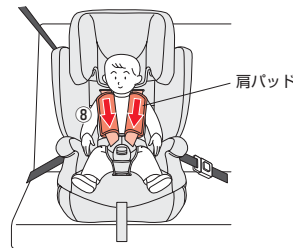
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・調節ベルトはまっすぐ引いてください。横に引くとベルトがねじれ、調節できなくなるおそれがあります。

## 〈肩パッドを調節する〉

- ⑧ 肩パッドをお子さまの胸あたりに調節する。



・肩パッドが肩ベルト通し穴につまったりしないように注意してください。



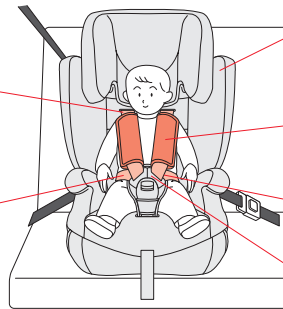
体重  
9kgから  
18kgまで

## チャイルドシートモード／使用時の確認

・正しくできていない場合は、もう一度P34～P36の手順をやり直してください。

肩ハーネスが肩より高い位置を通っていること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。



チャイルドシートの背もたれ角度は1段目か2段目に調節されていること。

肩パッドが胸の位置にあること。

肩ハーネス、腰ハーネスにねじれ、ゆるみがないこと。

タングがバックルに差し込まれていること。

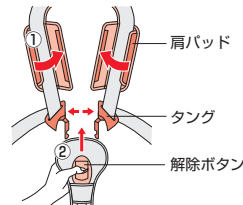


体重  
15kgから  
25kgまで

## ジュニアシートモード／肩ハーネスの取り外しかた

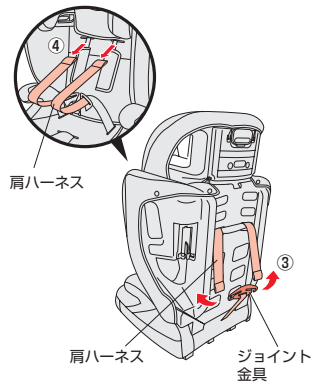
### 〈タングを外す〉

- ①肩パッドを開く。(左右)
- ②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。



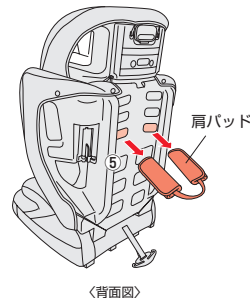
### 〈肩ハーネスを外す〉

- ③肩ハーネスをジョイント金具(左右)から取り外す。
- ④シート前側から引き抜く。(左右)



### 〈肩パッドを外す〉

- ⑤肩パッドを背面側から引き抜く。(左右)



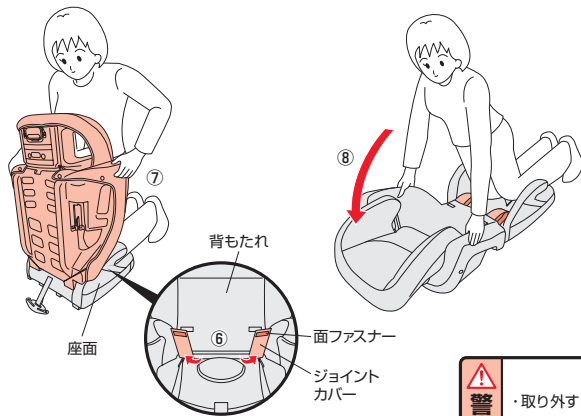
〈背面図〉



取り外した肩パッドは大切に保管してください。

〈背もたれを取り外す〉・取り外し作業は、広く平らな場所で行ってください。

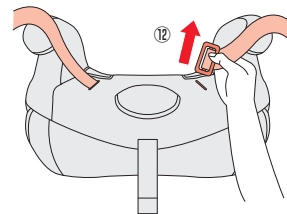
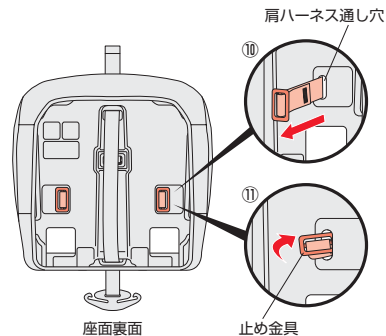
- ⑥ ジョイントカバーの面ファスナーを背もたれ側のシートカバー裏側の面ファスナーから外す。(左右)
- ⑦ 座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。
- ⑧ 背もたれを倒す。
- ⑨ 背もたれを水平に持ち上げ、取り外す。



**警告** 取り外す時に、指などを挟まないよう注意する。

〈肩ハーネスを取り外す〉

- ⑩ 座面裏面の肩ハーネス通し穴から止め金具を引き出す。
- ⑪ 止め金具をベルトに沿って押し上げる。
- ⑫ 座部の上部から肩ハーネスを抜き取る。(左右)

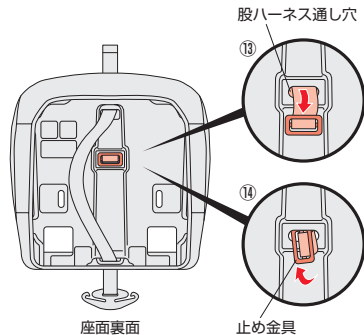


アドバイス

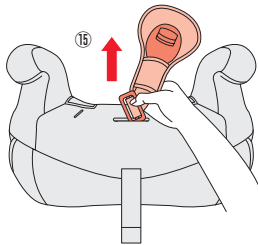
取り外した肩ハーネスは大切に保管してください。

## 〈股ハーネスを取り外す〉

- ⑬ 座面裏面の股ハーネス通し穴から止め金具を引き出す。
- ⑭ 止め金具をベルトに沿って押し上げる。



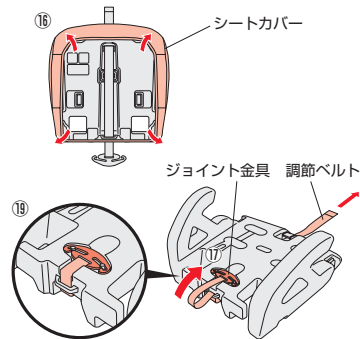
- ⑮ 座面の上部から股ハーネスと股ハーネスカバーを抜き取る。



取り外した股ハーネスと股ハーネスカバーは大切に保管してください。

## 〈ジョイント金具を収納する〉

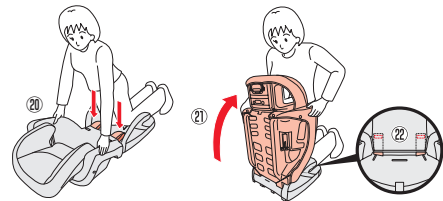
- ⑯ シートカバーをめくる。(P58参照)
- ⑰ ジョイント金具を収納する。
- ⑱ シートカバーをかぶせる。
- ⑲ 調節ベルトを引き、たるみをなくす。



あまった調節ベルトはシートカバーの中に収納してください。

## 〈背もたれを取り付ける〉

- ・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。
- ⑳ 背もたれを水平に寝かせ、アームを座面のジョイントに掛ける。
- ㉑ 背もたれを起し、背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。(P21参照)
- ㉒ ジョイントカバーの面ファスナーを背もたれ側のシートカバー裏側の面ファスナーにとめる。(P21参照)



・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意する。  
・組み立てたチャイルドシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意する。



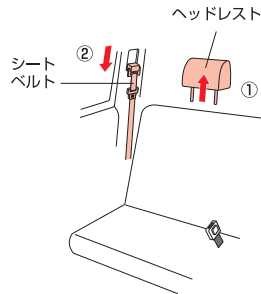
・シートカバーやジョイントカバーを挟み込まないように注意してください。



## ジュニアシートモード／車への取り付けかた

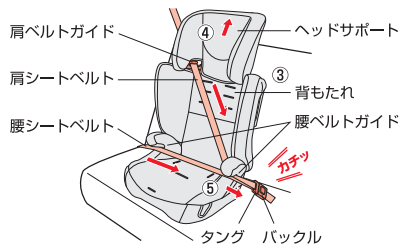
### 〈座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外す。
- ②シートベルトの高さを下げる。



### 〈背もたれ角度を調節する〉

- ③チャイルドシートの背もたれ角度(2段階)を座席に合わせて調節する。(P31参照)  
リクライニングが可能な座席の場合は、使用したいチャイルドシートの背もたれ角度に合わせ座席のリクライニングを調節する。
- ④高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートを上げる。
- ⑤腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。



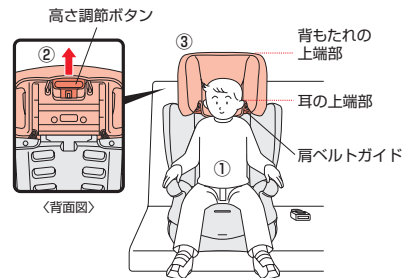
・チャイルドシートの背もたれ角度は1段目か2段目以外では使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。  
・お子さまが乗っていないときでも、チャイルドシートは必ずシートベルトで固定する。急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がけがをするおそれがあります。



## ジュニアシートモード／お子さまの乗せかた

### 〈ヘッドサポートの調節〉

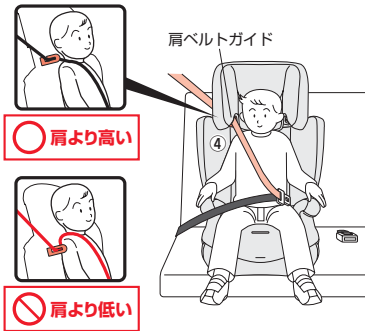
- ①お子さまを座面に深く座らせる。
- ②高さ調節ボタンを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節する。
- ③ヘッドサポートがしっかりと固定されていることを確認する。



・お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。  
・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意する。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

### 〈肩シートベルトを通す〉

- ④肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。



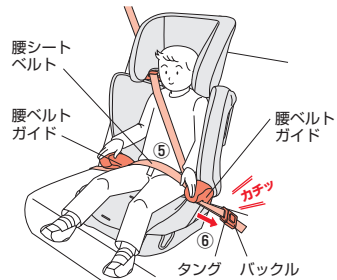
・肩シートベルトにねじれがないこと。  
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。



## ジュニアシートモード／お子さまの乗せかた

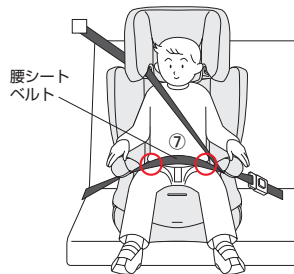
### 〈腰シートベルトをとめる〉

- ⑤肩シートベルトと腰シートベルトを腰ベルトガイドに通す。(左右)
- ⑥タングをバックルに差し込む。



### 〈腰シートベルトを下げる〉

- ⑦腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。



・腰シートベルトにねじれがないこと。



## ジュニアシートモード／使用時の確認

・正しくできていない場合は、もう一度P43～P45の手順をやり直してください。

お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になっていること。

チャイルドシートの背もたれ角度は1段目か2段目に調節されていること。

肩シートベルトがお子さまの肩より高い位置の肩ベルトガイドを通っていること。



肩シートベルトがお子さまの肩にかかっていること。

車のシートベルトにねじれ、ゆるみがないこと。  
(シワは問題ありません。)

腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

腰シートベルトが腰ベルトガイドを確実に通っていること。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。

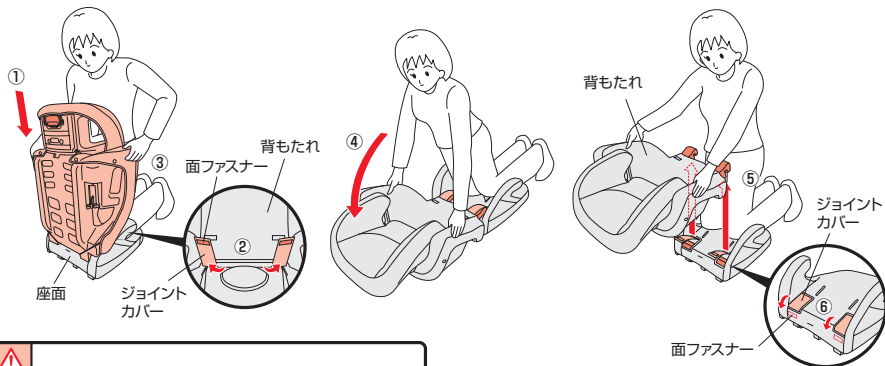


体重  
22kgから  
36kgまで

## ブースターシートモード／背もたれの取り外しかた

〈背もたれを取り外す〉・取り外し作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ①高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートを下げる。
- ②ジョイントカバーの面ファスナーを背もたれ側のシートカバー裏側の面ファスナーから外す。(左右)
- ③座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。
- ④背もたれを倒す。
- ⑤背もたれを水平に持ち上げ、取り外す。
- ⑥ジョイントカバーの面ファスナーをとめる。(左右)



・取り外す時に、指などを挟まないよう注意する。



取り外した背もたれは大切に保管してください。

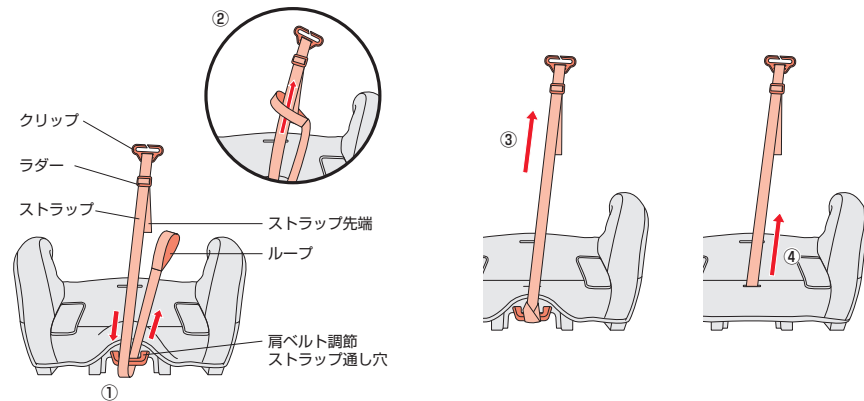
体重  
22kgから  
36kgまで

## ブースターシートモード／肩ベルト調節ストラップの使いかた

・肩シートベルトがお子さまの肩以外の部分にあたる場合は、肩ベルト調節ストラップを使用してください。

### 〈肩ベルト調節ストラップを取り付ける〉

- ①シートカバーをめくり、ストラップ先端がお子さまの背中側になるように肩ベルト調節ストラップ通し穴に通す。
- ②クリップをループに通す。
- ③クリップを引き上げ、固定する。
- ④シートカバーをかぶせ、クリップを通し穴に通す。



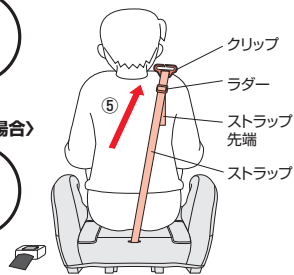
## 〈肩ベルト調節ストラップを調節する〉

- ⑤ラダーをゆるめ、ストラップの長さを調節し、クリップの位置をお子さまの肩にあわせる。

### 〈長くする場合〉



### 〈短くする場合〉



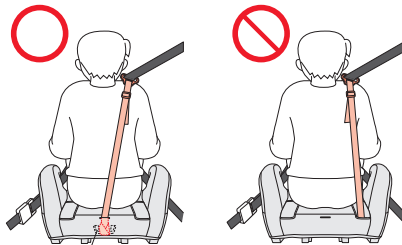
〈車の座席後側〉



ストラップ先端が、お子さまの背中側にあること。

## 警告

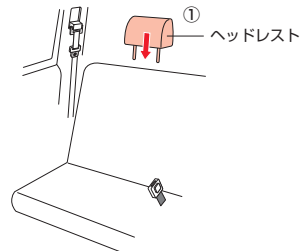
・肩ベルト調節ストラップを座面の肩ベルト調節ストラップ通し穴に取り付けていること。



肩ベルト調節ストラップ通し穴

## 〈座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

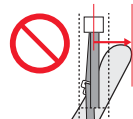
- ①車のヘッドレストを取り外している場合は取り付ける。



## 警告

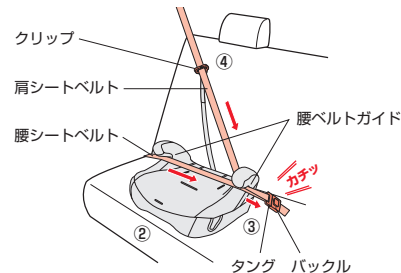
・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・座席の背もたれの上をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



## 〈チャイルドシートをのせる〉

- ②ジュニアシートを座席にのせ、ジュニアシートの前部が座席からはみ出していないことを確認する。  
③腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。  
④クリップを肩シートベルトに取り付ける。

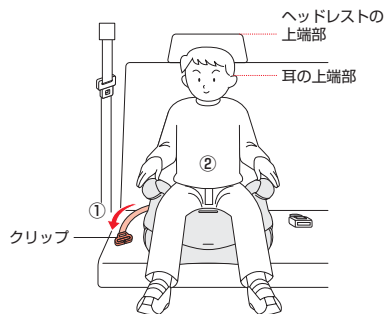


## 警告

・お子さまが乗っていないときでも、チャイルドシートは必ずシートベルトで固定する。  
急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。

## 〈お子さまを乗せる〉

- ①チャイルドシートを車の座席に置き、クリップを横側に出す。
- ②お子さまを座面に深く座らせる。

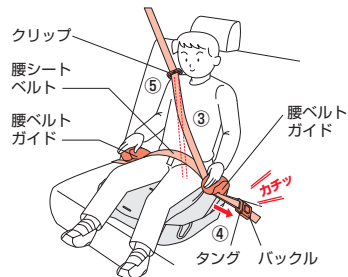


**警告**

- ・お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、またはヘッドレストの上端部より下になること。
- ・チャイルドシートの前部が座席からはみ出ないこと。

## 〈肩シートベルトをとめる〉

- ③腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通す。
- ④腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げ、タングをバックルに差し込む。
- ⑤クリップを肩シートベルトに取り付け、調節する。(P49参照)



**警告**

- ・肩ベルト調節ストラップはお子さまの背面側にあること。
- ・肩シートベルトにねじれがないこと。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。  
ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

・正しくできていない場合は、もう一度P48～P51の手順をやり直してください。

肩ベルト調節ストラップは、お子さまの背面側にあること。

車のシートベルトがお子さまの肩にかかっていること。

車のシートベルトにねじれ、ゆるみがないこと。  
(シワは問題ありません。)

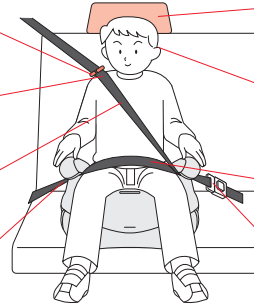
腰シートベルトが腰ベルトガイドを確実に通っていること。

車のヘッドレストを取り付けていること。(取り外せる場合)

お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、または、ヘッドレストの上端部より下になっていること。

腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。

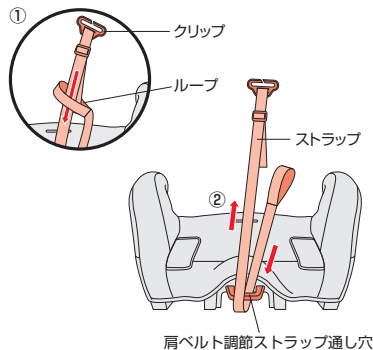




# チャイルドシートモードへの戻しかた

## 〈肩ベルト調節ストラップを取り外す〉

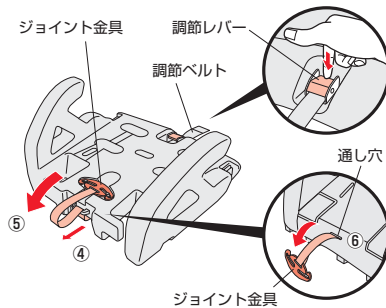
- ①シートカバーをめくり、クリップをループから抜く。
- ②ストラップを座面の肩ベルト調節ストラップ通し穴から抜き取る。



**アドバイス** 取り外した肩ベルト調節ストラップは大切に保管してください。

## 〈ジョイント金具を取り出す〉

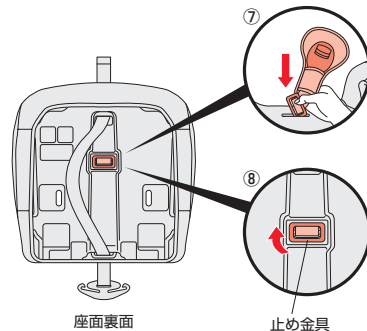
- ③シートカバーをめくる。(P58参照)
- ④調節レバーを押し込み、ベルトをゆるめる。
- ⑤ジョイント金具を取り出す。
- ⑥シートカバーをかぶせ、ジョイント金具を通し穴に通す。



**アドバイス** 調節ベルトをシートカバーの中から出してください。

## 〈股ハーネスを取り付ける〉

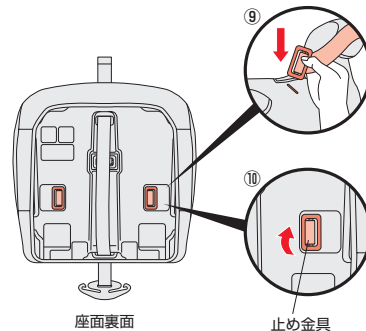
- ⑦座面の上部から股ハーネスの止め金具を股ハーネス通し穴に差し込む。
- ⑧座面裏面から止め金具で固定されていることを確認する。



**アドバイス** 股ハーネスカバーを取り外すと操作がしやすくなります。

## 〈肩ハーネスを取り付ける〉

- ⑨座面の上部から肩ハーネスの止め金具を肩ハーネス通し穴に差し込む。(左右)
- ⑩座面裏面から止め金具で固定されていることを確認する。(左右)



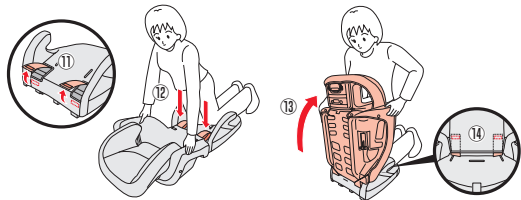
**アドバイス** 肩ハーネスの折り返し部を外側にしてください。



# チャイルドシートモードへの戻しかた

〈背もたれを取り付ける〉・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ⑪ ジョイントカバーの面ファスナーを外す。(P20参照)
- ⑫ 背もたれを水平に寝かせ、アームを座面のジョイントに掛ける。
- ⑬ 背もたれを起こし、背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。(P21参照)
- ⑭ ジョイントカバーの面ファスナーを背もたれ側のシートカバー裏側の面ファスナーにとめる。(P21参照)



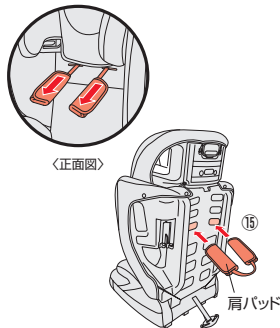
・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意する。  
 ・組み立てたチャイルドシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意する。



・シートカバーやジョイントカバーを挟み込まないように注意してください。

〈肩パッドを差し込む〉

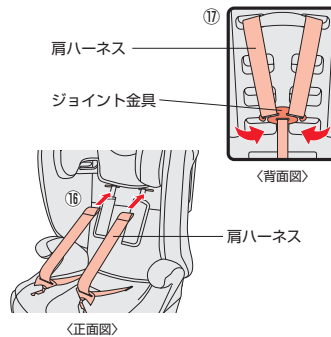
- ⑮ 使用する肩ハーネス通し穴に肩パッドを左右差し込む。



・肩パッドを裏表逆で使用しない。  
 ・肩パッドを左右違う高さで使用しない。  
**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

〈肩ハーネスを差し込む〉

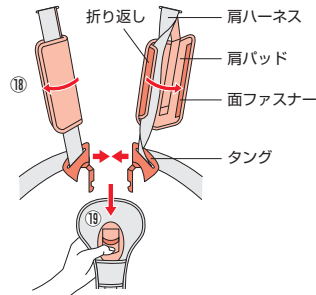
- ⑯ 肩ハーネスを差し込む。(左右)
- ⑰ 肩ハーネスをジョイント金具にとめる。(左右)



・肩ハーネス、調節ベルトにねじれがないこと。  
 ・肩ハーネス通し穴は、肩パッドを通した穴以外では使用しない。  
**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

〈肩パッドを取り付ける〉

- ⑱ 肩ハーネスを肩パッド内側の折り返しにはさみ、面ファスナーをとめる。(左右)
- ⑲ 左右のタングを組み合わせ「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



# シートカバーの取り外しかた

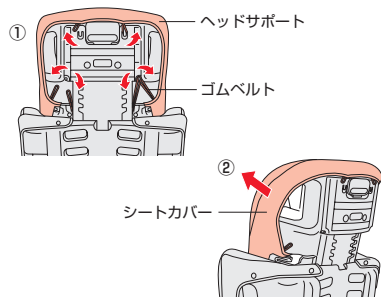
・シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。

## 〈準備〉

- ①ヘッドサポートを1番高く引き上げる。(P23参照)
- ②肩パッドを取り外す。(P38参照)
- ③背もたれを取り外す。(P39参照)
- ④肩ハーネスを取り外す。(P40参照)

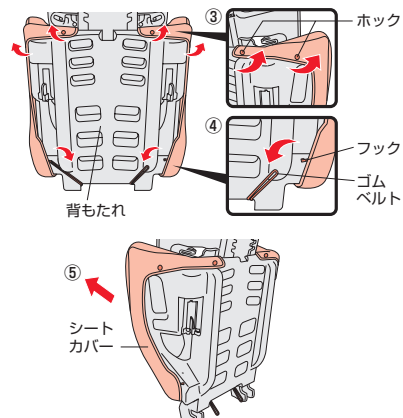
## 〈ヘッドサポート〉

- ①ヘッドサポートのゴムベルトを外す。(6カ所)
- ②シートカバーを取り外す。



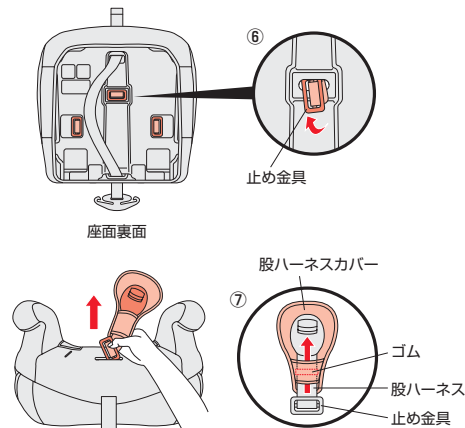
## 〈背もたれ〉

- ③背もたれ上部のフックを外す。(4カ所)
- ④背もたれ下部のゴムベルトをフックから外す。(2カ所)
- ⑤シートカバーを取り外す。



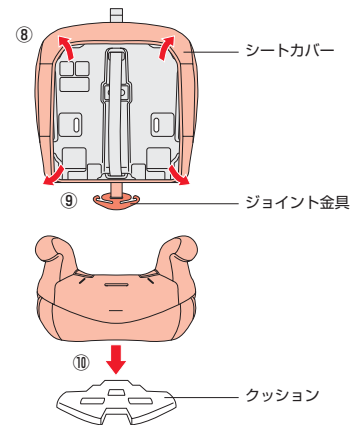
## 〈肩ハーネス・股ハーネス・股ハーネスカバー〉

- ⑥肩ハーネスと股ハーネスを取り外す。(P40、41参照)
- ⑦股ハーネスカバーのゴムに止め金具を通し、股ハーネスを抜き取る。



## 〈座面〉

- ⑧シートカバーをめくる。
- ⑨ジョイント金具をシートから抜き取り、シートカバーを取り外す。
- ⑩シートカバー内側のクッションを取り外す。



# お手入れ／保管・廃棄のしかた

## 〈シートカバー・股ハーネスカバー・肩パッドの洗濯〉



**注意**  
 ・他のものと一緒に洗濯しないでください。  
 色移り（移染）のおそれがあります。

## 〈樹脂部分・ハーネス・クッションのお手入れ〉

### 〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・可動部にゴミがつかまらないようこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

### 〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネス、クッションは日陰で乾燥させてください。

### 〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネス、クッションは日陰で乾燥させてください。

**注意**  
 ・本体やクッション、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。変色、変形、劣化のおそれがあります。

## 〈保管するときは〉

- ・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。

**注意**  
 ・屋外に放置し、雨などにさらさない。  
 劣化などにより、十分な性能を発揮できないおそれがあります。

## 〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

# 困ったときに 〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

## 〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P63「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアプリカホームページ[ <a href="https://www.aprica.jp/">https://www.aprica.jp/</a> ]や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	運転席より後ろの座席への取り付けをお奨めします。(P11「座席の条件」参照) 取り付けできない座席については、「座席の条件」(P12)、「シートベルトの条件」(P14)を参照ください。

## 〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
シートベルトの通し方が判らない。	取扱説明書及び本体表示の内容に従って正しく通してください。 (P31「チャイルドシートモード」、P44「ジュニアシートモード」、P51「ブースターシートモード」参照)
チャイルドシートを取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	座面奥側を両手で持ち、左右に動かして座面部分が3cm以上ずれなければそのままご使用いただけます。3cm以上ずれが発生する場合は、車体への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 (P19「日常の点検」、アプリカホームページ[ <a href="https://www.aprica.jp/">https://www.aprica.jp/</a> ]の「よくある質問」参照)
	何度取り付けしても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P63「アフターサービスについての連絡先」参照)

## 困ったときに <解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。>

### <お子さまの乗せかたで困ったとき>

お気づきの点	対処方法
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 (P31「チャイルドシートモード」、P44「ジュニアシートモード」、P51「ブースターシートモード」参照)  チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。
肩シートベルトがお子さまの首に掛かる、肩から外れる	肩ベルト調節ストラップのクリップの位置を調節してください。 (P49「ブースターシートモード／肩ベルト調節ストラップの使いかた」参照)
(チャイルドシートモードで使用時) 肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバックルにタングが差し込めない。	肩ハーネスの位置を確認してください。(P24「肩ハーネスの調節」参照)  車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。  お子さまが股ハーネスの上に乗っていないことを確認し、お子さまの腰を座面の奥まで移動させてください。 (P35「チャイルドシートモード／お子さまの乗せかた」参照)

### <操作時に困ったとき>

お気づきの点	対処方法
股ハーネスカバーが外れる。	股ハーネスカバーのゴムに股ハーネスが通っていることを確認してください。
股ハーネスの取り外し方がわからない。	座面裏面の股ハーネス通し穴に止め金具をベルトに沿って押し上げ、取り外してください。 (P41「股ハーネスを取り外す」参照)
肩ベルト調節ストラップの使い方がわからない。	ブースターシートモードで使います。 (P48「ブースターシートモード／肩ベルト調節ストラップの使いかた」参照)

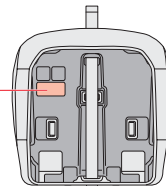
## 保証について

### <保証期間とアフターサービス>

- ・アフターサービスについて  
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- ・保証期間中（**購入日より1年間です。**）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただきます。
- ・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（**修理箇所の保証期間は1カ月です。**）また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（**部品の保有期間は、製造中止後3年間です。**）

- ・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、座面裏面シールの**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。

品名・品番・ロット番号シール







# MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----